

佐藤可士和氏監修のグローバル旗艦店「くら寿司 浅草ROX店」が
ドイツの国際建築デザインアワード「ICONIC AWARDS 2021」
インテリア部門で最高位「Best of Best」を受賞！
～国際的に“革新的な建築”として選ばれました～

くら寿司株式会社（代表取締役社長：田中邦彦、所在地：大阪府堺市）が運営するグローバル旗艦店「くら寿司 浅草ROX店」が、ドイツの国際建築デザインアワード「ICONIC AWARDS 2021」のインテリア部門で、最高位である「Best of Best」を受賞しました。同賞はドイツデザイン評議会「German Design Council」が主催する、国際的な建築デザインコンペティションです。



「くら寿司 浅草ROX店」は業界初の「ジャパンカルチャー発信型」店舗であり、くら寿司初のグローバル旗艦店として、2020年1月22日（水）にオープン。“観光”（Sightseeing）と“食事”（Eating）が同時に体験できる、「サイトイーティング（SightEating）」をコンセプトとした店舗です。内装は世界的に活躍するクリエイティブディレクターの佐藤可士和氏監修のもと、江戸時代の日本の「祭り」をイメージしたジャパニーズモダンなデザインとなっており、柱やテーブルには白木を、各座席には畳のシートを使用。和のぬくもりを感じられる空間を、現代的に表現しています。また、壁には浮世絵や提灯を装飾し、射的や輪投げなど実際に遊べる“縁日スペース”を併設。日本文化を体験できる飲食店として、国内外のお客様にもご好評いただいております。

今回、伝統的なお寿司とエンターテインメントを掛け合わせた、独創的なデザインなどが評価され、国際的に権威あるデザイン賞のひとつである「ICONIC AWARDS 2021」のインテリア部門で、最高位である「Best of Best」を受賞しました。

今後くら寿司は、回転寿司のすばらしさを日本のみならず、海外にも更に広めるため、「人に伝えたいくなる店舗の創造」を目指します。

■ICONIC AWARDS について

ドイツデザイン評議会「German Design Council」が主催している世界各国の建築関連デザインに焦点を当てた国際的な建築デザイン賞です。優れた建築とインテリア製品を表彰するために毎年開催されています。「建築」や「インテリア」などの部門に分かれており、各部門に受賞作品が選出され、優秀な作品から順に「Best of Best」「Winner」「Selection」が授与されます。

<審査員のコメント>

淡い色の木材で統一されたインテリアは、広く開放的な空間と明確なデザインテーマによって、温かく、親しみやすい雰囲気が醸し出されている。また、伝統的な寿司と祭りで馴染みのある射的のようなエンターテインメントを組み合わせるアイデアは、独創的で全体のデザインコンセプトとも綺麗に調和している。時代を超越したモダンな空間がまとう細部までこだわった印象的なデザインは、間違いなく世界中で高評価を受けるだろう。

ICONIC WORLD「くら寿司 浅草 ROX 店」掲載ページ

<https://www.iconic-world.com/directory/kura-sushi-asakusa-rox>

■くら寿司 グローバル旗艦店「くら寿司 浅草 ROX 店」について

「国内最大の店舗規模」の敷地に、佐藤可士和氏監修の「和を意識した装飾」

敷地面積は国内最大 255 坪（一般店舗で 125 坪）、座席数も国内最大となる 272 席（一般店舗で 199 席）を配置。店内には浮世絵や提灯などが飾られており、日本の江戸時代のような「和」をイメージさせる空間に。食事スペースにもこだわり、白木を使用したテーブル、畳を使用した椅子は上品さと落ち着いた空間を演出しています。



日本文化が体験できる「縁日スペース」の併設も

「射的」や「輪投げ」をお楽しみいただける「縁日スペース」を併設。ビックラポン！のカプセルの中には、景品と共に利用券が封入されているものがあり、そちらと引き換えにご利用いただけます。「射的」や「輪投げ」の賞品として、お子様向けのおもちゃをご用意しております。



<過去の受賞歴>

- ・第 54 回日本サインデザイン賞 銅賞（公益社団法人 日本サインデザイン協会）【2020 年 10 月】
- ・国内初となる内装意匠 登録（経済産業省特許庁）【2020 年 10 月】